

新規作用性 殺虫剤



ファインセーブ[®] フロアブル

アザミウマ類に特効的・サビダニ類にも高い効果

併せて、タバココナジラム類、小型のチョウ目害虫にも有効

新規作用機作で既存剤に感受性の低下した害虫に有効

ミトコンドリア電子伝達系複合体III Qiを阻害する

天敵・有用昆虫に対する影響が小さい

ミツバチ・マルハナバチ・カブリダニ類等に対して影響が小さい

極めて高い速効性・優れた残効性



250ml入り



500ml入り



自然に学び自然を守る



ファインセーブは登録商標第5543984号



有効成分：フロメトキン……………10.0%
 その他成分：水、界面活性剤等……………90.0%
 性状：類白色水和性粘稠懸濁液体
 毒性：医薬用外劇物

適用害虫の範囲及び使用方法

「散布」で使用する場合

2025年2月現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロメトキンを含む農薬の総使用回数
かんきつ	アザミウマ類、ミカンサビダニ、チャノホコリダニ	2000~4000倍	200~700ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
ぶどう	アザミウマ類、ブドウサビダニ	2000倍					
もも、マンゴー	アザミウマ類	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
未成熟そらまめ、さやいんげん							
なす、ししとう、ピーマン	タバココナジラミ類 ※①	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
しよくようほおずぎ、パジル、にんにく	アザミウマ類	2000倍					
トマト、ミニトマト	アザミウマ類、タバココナジラミ類 ※①	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	トマトサビダニ	1000~4000倍					
すいか、いちご	アザミウマ類	1000~2000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
非結球あぶらな科葉菜類	コナガ	2000倍					
はくさい	アオムシ	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内
	コナガ	1000~2000倍					
キャベツ	コナガ、アザミウマ類	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アオムシ						
レタス	アザミウマ類	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
さく(葉)、にら、食用ぎく							
しそ	アザミウマ類	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
しそ(花穂)							
ブロッコリー、カリフラワー	アオムシ、アザミウマ類	1000倍	100~800ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布、但し※②	3回以内
だいこん	コナガ	1000~2000倍					
ねぎ	アザミウマ類	2000倍	100~800ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内
	ネギハモグリバエ						
わけぎ、あさつき	アザミウマ類、ネギハモグリバエ	1000~2000倍	100~800ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
たまねぎ							
ほうれんそう	アザミウマ類	2000倍	100~800ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
アスパラガス	タバココナジラミ類 ※①						
みょうが(花穂)	アザミウマ類	1000倍	100~300ℓ/10a	※③	3回以内	散布	3回以内
みょうが(莖葉)							
茶	チャノホソガ	2000~4000倍	200~400ℓ/10a	摘採7日前まで	2回以内	散布	2回以内
	チャノキイロアザミウマ	1000~4000倍					
グロリオサ、ダリア、ランタンキュラス	アザミウマ類	1000倍	100~300ℓ/10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
ほおずぎ、さく		2000倍					

※① シルバーリーフコナジラミを含む ※② 花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する

※③ みょうが(花穂)の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで

「常温煙霧」で使用する場合

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロメトキンを含む農薬の総使用回数	
なす	温室、ガラス室、ビニールハウス等の密閉できる場所	アザミウマ類	67倍	10ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	常温煙霧	3回以内	
みょうが(花穂)			33倍				※③		常温煙霧、但し※④
みょうが(莖葉)							常温煙霧		

※③ みょうが(花穂)の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで

※④ 花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により煙霧が直接花穂に飛散しない状態で使用する

使い方のポイント

- 使用する前に容器を良く振ってください。
- 抵抗性の発達を抑えるため、連用はさけてください。
- 散布ムラがないように散布してください。
- 濡れ性のよい展着剤の加用をおすすめします。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届くところには置かないでください。 ● 空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。 ● 防除日誌に記帳しましょう。

この印刷物は2025年2月現在の登録に準拠して作成しました。

自然に学び 自然を守る

